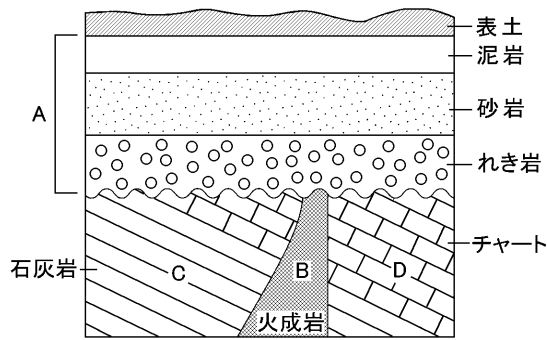


得点	演習問題		実施日	月	日	氏名

【1】下の図は、ある地点で観測した地層のようすを模式的に示したものである。これについて、次の問いに答えなさい。



(1) A層の堆積のようすから、この地点での海の深さはどのように変化していったことがわかりますか。そのように判断した理由とともに簡単に書きなさい。

[]

(2) Bは地下から入りこんだマグマが固まったものである。この時期をA層の堆積と比べるとどちらが古くできたものですか。AまたはBの記号を書きなさい。

()

(3) A層の砂岩にはサンゴの化石がふくまれていた。このことから、Aが堆積した時期には、この地点はどのような海であったことがわかりますか。2つの特徴をあげ、簡単に書きなさい。

[]

(4) (3)のように堆積した環境がわかる化石をまとめて何といいますか。

()

(5) Cの石灰岩とDのチャートに塩酸をかけたときの反応について、正しく述べたものはどれですか。次のア～エから選びなさい。

()

- ア 石灰岩からもチャートからも気体が発生した。
- イ 石灰岩からのみ気体が発生した。
- ウ チャートからのみ気体が発生した。
- エ 石灰岩からもチャートからも気体は発生しなかった。

(6) (5)で発生した気体を試験管に集め、この気体が何であるか確かめたい。この方法として正しいものを次のア～エから選びなさい。

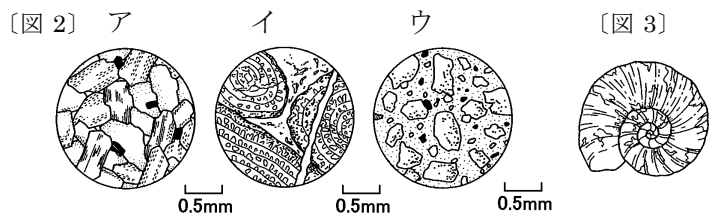
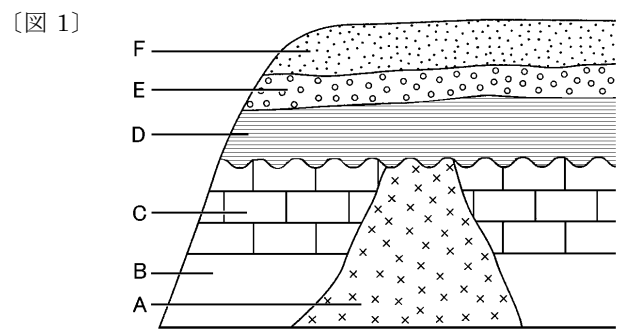
()

- ア 火のついた線香を気体の中に入れる。
- イ 試験管に石灰水を入れてふる。
- ウ 塩化コバルト紙を気体に近づける。
- エ 試験管にフェノールフタレイン溶液を加える。

【2】次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

〔図1〕はある場所の地層を観察した模式図である。〔図2〕のアはAの花こう岩をくわしく観察したスケッチである。この花こう岩に含まれる鉱物を調べたところ、白っぽい(①)と長石、さらに色のついた(②)と角閃石の4種類が含まれていた。

〔図2〕のイはCの地層の堆積岩をくわしく観察したスケッチである。図2のウはFの地層の堆積岩をくわしく観察したスケッチである。Eの地層の堆積岩の粒はFの地層の堆積岩の粒より大きく、Dの地層の堆積岩の粒は、Fの地層の堆積岩の粒より小さかった。〔図3〕はDの地層に含まれていた化石のスケッチである。



(1) 次の①～③のできごとを起こった順に正しく並べなさい。

(→ →)

- ① マグマによってAの花こう岩ができた。
- ② B・Cの地層が堆積した。
- ③ D～Fの地層が堆積した。

(2) 〔図2〕のアの花こう岩のように、マグマがゆっくりと冷えて固まってできる岩石の種類を何といいますか。

()

(3) 〔図2〕のアの花こう岩のように、同じ大きさの粒が組み合わさってできている岩石の組織を何といいますか。

()

(4) 〔図2〕のウの岩石の名称を答えなさい。

()

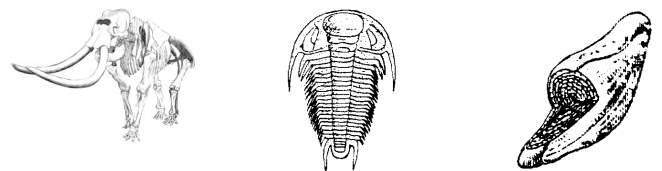
(5) 〔図2〕のイの岩石にうすい塩酸をかけると泡が出た。この岩石の名称と出た泡の気体の名称を答えなさい。

岩石() 気体()

(6) 〔図3〕の化石を何といいますか。また、この生物と同じ時代に生きていた生物を次のア～オから選びなさい。

() ()

- ア ナウマンゾウ
- イ サンヨウチュウ
- ウ フズリナ



- エ キョウリュウ
- オ ビカリア



(7) (①)、(②)に入る鉱物の名称をそれぞれ答えなさい。

①() ②()

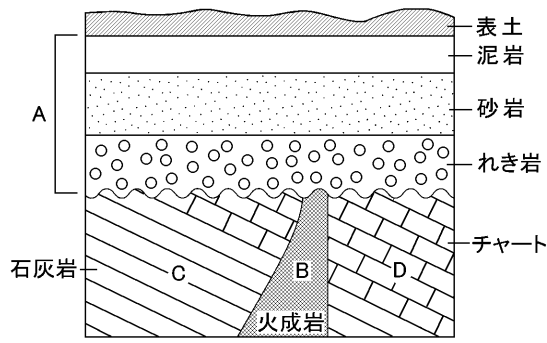
(8) 地層Dが堆積してから、地層Fが堆積するまでに起きた海の深さの変化について適切な文を次のア～エから選びなさい。

()

- ア じだいに浅くなっていった。
- イ じだいに深くなっていった。
- ウ じだいに浅くなり、あとに深くなっていった。
- エ じだいに深くなり、あとに浅くなっていった。

得点	演習問題 (解答)	実施日	月	日	氏名
			地層のつくり ②		

【1】下の図は、ある地点で観測した地層のようすを模式的に示したものである。これについて、次の問いに答えなさい。



(1) A 層の堆積のようすから、この地点での海の深さはどのように変化していったことがわかりますか。そのように判断した理由とともに簡単に書きなさい。

〔 堆積した粒が小さくなっているので深くなっていった 〕

(2) B は地下から入りこんだマグマが固まったものである。この時期を A 層の堆積と比べるとどちらが古くできたものですか。A または B の記号を書きなさい。 (B)

(3) A 層の砂岩にはサンゴの化石がふくまれていた。このことから、A が堆積した時期には、この地点はどのような海であったことがわかりますか。2 つの特徴をあげ、簡単に書きなさい。

〔 あたたかい、浅い海であった 〕

(4) (3)のように堆積した環境がわかる化石をまとめて何といいますか。 (示相化石)

(5) C の石灰岩と D のチャートに塩酸をかけたときの反応について、正しく述べたものはどれですか。次のア～エから選びなさい。 (イ)

- ア 石灰岩からもチャートからも気体が発生した。
- イ 石灰岩からのみ気体が発生した。
- ウ チャートからのみ気体が発生した。
- エ 石灰岩からもチャートからも気体は発生しなかった。

(6) (5)で発生した気体を試験管に集め、この気体は何であるか確かめたい。この方法として正しいものを次のア～エから選びなさい。 (イ)

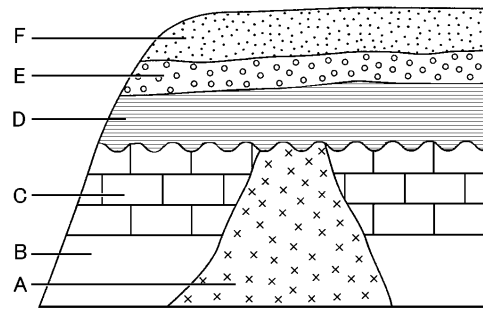
- ア 火のついた線香を気体の中に入れる。
- イ 試験管に石灰水を入れてふる。
- ウ 塩化コバルト紙を気体に近づける。
- エ 試験管にフェノールフタレイン溶液を加える。

【2】次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

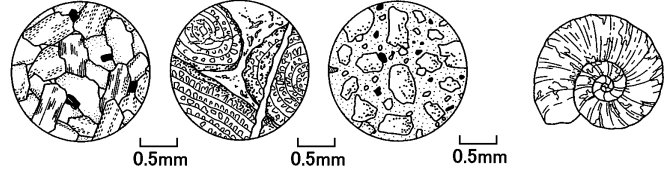
〔図 1〕はある場所の地層を観察した模式図である。〔図 2〕のアは A の花こう岩をくわしく観察したスケッチである。この花こう岩に含まれる鉱物を調べたところ、白っぽい(①)と長石、さらに色のついた(②)と角閃石の 4 種類が含まれていた。

〔図 2〕のイは C の地層の堆積岩をくわしく観察したスケッチである。図 2 のウは F の地層の堆積岩をくわしく観察したスケッチである。E の地層の堆積岩の粒は F の地層の堆積岩の粒より大きく、D の地層の堆積岩の粒は、F の地層の堆積岩の粒より小さかった。〔図 3〕は D の地層に含まれていた化石のスケッチである。

〔図 1〕



〔図 2〕 ア イ ウ



(1) 次の①～③のできごとを起こった順に正しく並べなさい。 (② → ① → ③)

- ① マグマによって A の花こう岩ができた。
- ② B・C の地層が堆積した。
- ③ D～F の地層が堆積した。

(2) 〔図 2〕のアの花こう岩のように、マグマがゆっくりと冷えて固まってできる岩石の種類を何といいますか。 (深成岩)

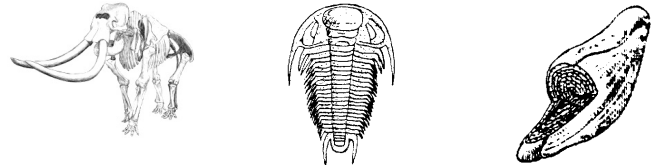
(3) 〔図 2〕のアの花こう岩のように、同じ大きさの粒が組み合わさってできている岩石の組織を何といいますか。 (等粒状組織)

(4) 〔図 2〕のウの岩石の名称を答えなさい。角の大きさが 0.06mm～2mm だから (砂岩)

(5) 〔図 2〕のイの岩石にうすい塩酸をかけると泡が出た。この岩石の名称と出た泡の気体の名称を答えなさい。岩石(石灰岩) 気体(二酸化炭素)

(6) 〔図 3〕の化石を何といいますか。また、この生物と同じ時代に生きていた生物を次のア～オから選びなさい。 (アンモナイト) (エ)

ア ナウマンゾウ イ サンヨウチュウ ウ フズリナ



エ キョウリュウ オ ビカリア



(7) (①)、(②)に入る鉱物の名称をそれぞれ答えなさい。①(石英) ②(黒雲母)

(8) 地層 D が堆積してから、地層 F が堆積するまでに起きた海の深さの変化について適切な文を次のア～エから選びなさい。 (ウ)

- ア しだいに浅くなっていった。
- イ しだいに深くなっていった。
- ウ しだいに浅くなり、あとに深くなっていった。
- エ しだいに深くなり、あとに浅くなっていった。